



▲上田清司埼玉県知事に
ごあいさついただきました

1/10
Thu.

2019年埼玉県生協連 新春賀詞交換会

各界を代表する皆様65人に 出席いただきました

岩岡宏保会長理事が、2019年度は県内で協同組合連携をすすめ、引き続き「核兵器廃絶、平和・憲法の学習」「子どもの貧困や生活困窮者への支援」「消費者被害防止」を重点に取り組むとあいさつ。来賓の皆様からは、よりよい地域社会づくりのために一緒に取り組んでいきたいと思いますとおあいさついただきました。



1/17
Thu.

助け合い活動交流会

高齢者の消費者被害未然防止学習と 助け合い活動をグループ交流

各生協で助け合い活動にかかわる組合員5生協44人が参加、高齢者の見守りと消費生活センターへつなぐことの重要性を武藤洋善弁護士による講義とDVDを視聴することで学習し、日頃の助け合い活動の交流をしました。



▲講師の(一社)まちかど防災「減災塾」
塾長 水島重光さん

1/18・23・30・2/5
Fri. Wed. Wed. Tue.

埼玉県委託事業 県内消費者団体地区別研修会 災害への備えと地域での支え合いに ついて考えました

消費者団体によびかけて、災害発生時の地域での支え合いの必要性を、身近な地域のハザードマップを使ったワークなどを通して学び考える研修会を県内4会場でおこない、のべ35団体99人が参加しました。各団体の日頃の取り組みも交流しました。

12/5-21
Wed. Fri.

埼玉県議会各政党・会派との懇談会

埼玉県生協連や会員生協の紹介と県政要望などについて懇談

埼玉県生協連と会員生協の事業状況やSDGsの視点からみた会員生協の活動紹介、県政要望として子どもの貧困、フードバンク、協同組合連携などについて紹介、意見交換しました。



▲12月5日(水) 埼玉県議会自由民主党議員団役員の皆様との懇談会



▲12月17日(月) 立憲・国民・無所属の議員の皆様との懇談会



▲12月17日(月) 無所属県民会議議員の皆様との懇談会



▲12月17日(月) 無所属改革の議員の皆様との懇談会



▲12月20日(木) 日本共産党埼玉県議団議員の皆様との懇談会

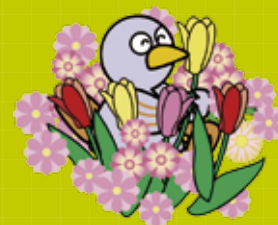


▲12月21日(金) 埼玉県議会公明党議員団の皆様との懇談会

埼玉県生活協同組合連合会

写真 ニュース

2019・春号 No.70



埼玉県マスコット「コバトン」



協同組合連携を考える学習会

主催：埼玉県農業協同組合中央会、埼玉県生活協同組合連合会

TOP
NEWS

1/28
Mon.

協同組合連携を考える学習会

協同組合連携が広がる茨城県での先進事例を学びました

埼玉県県民健康センター(さいたま市浦和区)にて、協同組合が地域づくりの主体として、互いに連携することで果たせる役割・可能性について学ぶ場を、埼玉県農業協同組合中央会と埼玉県生活協同組合連合会が関係する団体に呼びかけて開催し、57人が参加しました。

日本協同組合連携機構(JCA)の青竹豊常務理事からは、JCA設立の背景や日本の協同組合の現状についてお話いただき、協同組合ネットいばらき副幹事で茨城県生活協同組合連合会専務理事古山均さんは、茨城での連携の広がりポイントは「ゆるやか」「あいのり」「やってみる」で、JAも日本生協連も掲げる理念は同じであり、協同組合こそ地域の守り手である、また実践してこそ必要性や可能性が見えてくると様々な事例を交えて話されました。



▲埼玉県農業協同組合中央会会長
若林龍司さんによる主催者あいさつ



▲日本協同組合連携機構(JCA)
青竹豊さん



▲協同組合ネットいばらき
古山均さん

2/18
Mon.

JA埼玉県女性組織協議会と埼玉県生協連との第24回早春交流会

防災プレスレットづくりや日頃の活動を交流

協同組合間の交流の場として、24回目を迎えた今年は、むさしの村を会場にいちご狩り、防災プレスレットづくり、各団体の活動報告の後、6つのグループごとに日ごろの活動や「食品等の商品開発について」意見交換や交流をおこないました。



▲紅ほっぺやあきびめを堪能しました



▲防災プレスレットづくり



▲グループごとに交流報告しました

会員生協の取り組み

広がる県内生協の多彩な活動

生活協同組合コープみらい

コープみらい初 小規模多機能ホーム コープ夢みらい北本を開所しました

2月21日(木)、小規模多機能型居宅介護施設「コープ夢みらい北本」を開所し、3月1日から介護事業サービスを開始しました。

施設に入所することなく、住み慣れた地域や自宅在宅生活を続けたいと考える方に、本人の希望や状態に合わせて、「通い(デイサービス)」を中心に、「訪問(ホームヘルパー)」「泊まり(ショートステイ)」が24時間・365日利用いただける地域密着型サービスです。

コープみらいは、「地域包括ケアシステム」の構築を地域と共に目指してまいります。



▶施設外観



▲開所式(左から)オーナー 鈴木様、コープみらい新井理事長、現王国孝昭北本市市長、北本団地自治会長佐藤様

2019年 パルシステム埼玉 役職員全体会



▲左からパルシステム埼玉理事長 田原けい子、スタジオ鼎 江幡三香様、東京おもちゃ美術館 馬場清様

生活協同組合パルシステム埼玉

『ウッドスタート宣言』調印式を行いました

パルシステム埼玉と東京おもちゃ美術館は、1月26日(土)に役職員全体会の中で、「ウッドスタート宣言」の調印式を執り行いました。埼玉県内の企業として初の取り組みとなり、県内で同様の宣言をした2つの自治体(ときがわ町、秩父市)とも連携しながら、国産材の活用や木育への取り組みを進める予定です。

締結を記念して東京おもちゃ美術館・副館長の馬場清様と、誕生祝い品の木のおもちゃをデザインしたスタジオ鼎(かなえ)の江幡三香様に講演いただきました。

生活クラブ生活協同組合

秩父の皮むき間伐材を使ったワークショップを開催

1月12日(土)生活クラブ埼玉本部(中浦和)にて、床はりワークショップを開催しました。6組のご家族が参加し、小学生男女それぞれ2人ずつで託児室の床をはりました。グループ毎に作業を行い、他グループが床はりしている間に、丸太をノコギリで切る体験や端材の工作などを楽しみました。森のおはなしの紙芝居もあり、お子さんたちが大活躍の一日でした。※秩父の皮むき間伐活動は、2016年から始まり、今回有効活用の最終段階として、間伐材を製材加工し、本部事業所の床に設置しました。



医療生協さいたま生活協同組合

県南地域「地域まるごと健康づくり まちづくり活動交流集会」を開催しました

1月30日(水)、本部・ふれあい会館において、県南地域ネットワーク「地域まるごと健康づくりまちづくり活動交流集会」を開催し、組合員・職員あわせて約140人が参加しました。

全体会では5支部から、居場所づくりや多世代食堂などの活動が紹介されました。その後、体験型分科会が5会場(笑いケア、健康ひろば、オレンジカフェなど)で持たれました。「自分の支部に持ち帰りたい企画が見つかった」などの感想が寄せられ、実り多いイベントになりました。



さいたま住宅生活協同組合

SDGsをさらに推進する

1月26日(土)、新春のつどいを開催。来賓、総代、協力業者、役員総勢90人が参加し、和やかに懇談しました。後藤理事長から今年度の事業状況を報告、2016年度に赤字体質から抜け出し今期を含め増収増益が続いている状況を報告しました。

さらに、国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)を推進していくために、さいたま住宅生協の家「明日家(あすか)」の建設を目指すことでこの取り組みに貢献していくことなどを報告しました。



▲後藤理事長のあいさつ

埼玉県労働者共済生活協同組合(全労済)

第46回「小学生作品コンクール」 表彰式開催

2月23日(土)全労済埼玉推進本部会館において、第46回小学生作品コンクールの表彰式を開催しました。埼玉県内の小学生の皆さまから作文・版画の両部門において1,408点(28校)の応募をいただき、全労済埼玉推進部長賞ならびに、埼玉県知事賞をはじめとした各賞を決定しました。全労済では、子どもたちの豊かな心の成長を願い、社会貢献の一環として、1973年から小学生を対象に本コンクールを開催しています。



淑徳大学みずほ台生活協同組合

ウインターセミナーでの生協活動

淑徳大学では入学する推薦生を対象に、毎年ウインターセミナーを実施しています。生協は、食事の提供や生協ブースを設けて、パソコン展示及び説明、住まいの相談、学生委員会は、大学生活の不安・疑問を解消するための相談会を開催しました。生協の資料配布も実施し、2月現在の生協加入、共済加入は幸先のよいスタートとなりました。3月にもウインターセミナーと同様のスプリングセミナーを準備しています。